



オープン・スクールが行われました

7月2日(土)に、石田小と国母小の6年生とその保護者の方を対象に、オープン・スクールが行われました。当日は、両校合わせて、20数名の児童とその保護者の方が来校してくれました。午前中は授業参観、午後は部活動見学の予定でしたが、部活動見学については、昼前に暑さ指数を計測し、熱中症リスクが高いということで、中止としました。

見学を楽しみにしていた石田小・国母小の6年生、さらには、自分の入っている部活動のアピールをしようと準備していた各部の生徒にとっても残念な形になりましたが、生徒会の方で、各部のPR映像を撮って、両小学校に送ることを企画しているとのことですので、楽しみに待ちたいと思います。

右の写真は、いずれもオープン・スクールの際の1年生の授業風景です。母校の小学校6年生が見に来るといって、いつもきちんと授業を受けている1年生が、この日はさらに頑張っているように見えました。

ある先生は、この日の1年生～3年生の様子を見て、「石田小・国母小の6年生が授業を見に来てくれました。中学校に来る際の不安が軽減され、楽しみになってくれればいいなと思います。土曜日の登校でしたが、生徒たちはよくがんばっていて素晴らしかったです。」との感想を寄せてくれました。

本校の生徒の日頃の授業風景や学級の雰囲気を見ていただけたことで、本校入学への不安を減らし、大きく期待を膨らませてもらえたらありがたいと思います。



2年生がオンライン職業講話を行いました

2年生が6月24日、30日、7月5日の3回、オンラインでの職業講話を行いました。職業講話とは、職業に就いている大人から、その仕事に就こうと思ったきっかけ、仕事の内容、必要な資格や知識、仕事をする上でのやりがいや喜び・苦労、中学生へのメッセージなどを話してもらうものです。

講師としてお迎えしたのは、デザイナーの眞木絢末さん、Web制作(事業者や官公庁のHPを易しい日本語に翻訳する)の大房秋臣さん、美容師の山下美樹さんでした。いずれも、現在の社会でニーズが高かったり、中学生が興味を持ちやすい仕事に就いている方から話を聞く機会となりました。

私は2回目の大房さんの時の授業を見ました。全3クラスが大房さんの話をオンライン(TV会議システム)で話を聞きましたが、担当クラスとなった2-3の生徒が司会・進行と代表で質問をしながら講話が進みました。どのクラスも意欲的に話を聞いたり、メモをしている様子が見られました。

本来、2年生は夏休みに、事業所に出向いて、1～3日程度の職業体験をするのですが、コロナを警戒して受け入れが厳しい事業所(例えば、保育園、病院など)があり、市全体としても中止することになってしまいましたが、その代替行事として、オンラインを利用して、県外の方とも結んで講話ができたのは良かったと思います。2年生には、自分の将来を見据え、そのために今何をすべきかを考えるきっかけになればと思います。



いちょう祭の取組が始まりました

今年度のいちょう祭が動き出しました。昨年度に引き続き、コロナ禍を考慮し、9月16日(金)の1日開催となりますが、昨年度と比べ、学年発表が入ることなどが特徴です。

また、本校のいちょう祭は、学年を超えたブロックを2つ作り、ブロック対抗の競技などを行うことも特徴ですが、右の写真は、7/5火に行われた赤ブロック(1-2・3、2-2、3-1)のブロック集会です。ブロックをさらに細かく分けた班の中での自己紹介やブロック全体で「がんばるぞ」の気合いを入れたり、和気あいあいとした雰囲気の中で進められました。一方の青ブロック(1-1、2-1・3、3-2)はブロック内の異学年から構成される班ごとに教室に分かれ、オンラインで全体集会をした後、ブロック班ごとにレクをするなどして、交流を深めました。

学園祭を通じて、部活動とは違う人間関係の中で、学年を超えた交流が進み、南西中の良き伝統が先輩から後輩へ受け継がれていくきっかけになればと思います。

